

## 2019年度事業計画

### 1 創立40周年を契機に新たな発展に向けた飛躍を

今上天皇陛下のご退位に伴い、新年度から元号が改まることから、平成30年度は、「平成」最後の年度になりました。

節目となりました平成30年6月には、多くの会員の皆様と、ご来賓並びに関係諸団体の皆様とともに、文京区シルバー人材センター創立40周年記念式典を行い、さらに40周年記念誌を刊行する等、一つの時代の締めくくりとして、また、新たな発展に向けて飛躍する記念すべき一年になりました。

内閣府は「高齢社会対策大綱」（2018年）において、65歳以上を一律に「高齢者」と見ることは現実的ではなく、70歳やそれ以降でも、個々人の意欲・能力に応じた力を発揮できる時代が到来しており、「高齢者を支える」発想とともに、「意欲ある高齢者の能力発揮」を可能とする社会環境を整えることが必要であるとしています。この様に、経済的機能強化の要請を背景としながら、厚生労働省は「今後、シルバー人材センターは労働者派遣事業や職業紹介事業によって雇用・就業機会を提供することについても積極的に対応し、生きがい就労を含めた、いわば高齢者雇用・就業機会の総合デパートして機能できることが求められる」としており、今年度より開始するシルバー派遣事業においては、補助金を活用しながら積極的な事業展開を行う必要があります。

一方、全国的にシルバー人材センターの会員は減少傾向が続いており、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会は、計画期間を7年間とする「第2次100万人計画」を策定し、東京都シルバー人材センター連合においても、各シルバー人材センターごとに、目標数値を設定しその取組みを支援・強化する等、会員獲得に向けた取組を強化していることから、次年度においてもさらなる会員獲得に向けた取組みを強化する必要があります。

今後のシルバー人材センターが目指す方向性は、「地域に密着」したうえで、個別課題を「自主・自立・共働、共助」の理念のもとに解決していくという絶えざる活動を行い、時代の変化に対応出来る新しい運動体を構築することにあります。

以上のことから、来年度の重点を置いて取組む事項は、「就業機会の新たな開拓による経済的な自立」、「シルバー派遣事業に伴う会員の資質・接遇力の向上」を行い、「就業の安全確保のさらなる強化」、「会員の拡充と増員に向けた新たな取組」、「シルバー派遣事業の実施及び新規参入による課題の把握と検討」が、重要な取組み目標になります。

そのためには、区や関係団体及び地域社会との共働システムの形成と、会員の皆様と理事会、事務局及び会員就業組織の機能強化を目指して行かなければなりません。

2020年オリンピックも間近に迫って来ています。都や区の様々な取り組みと連携してボランティア活動を含めた事業展開を併せて行い、公益社団法人としての役割を進める事も忘れてはなりません。

一つ一つの事業に創意工夫を加えながら、効果的で効率性の高いものへ導くことを最大の目標として、来年度予算（2019年度）を編成いたします。

## 2 2019年度基本方針と主な事業目標

次のとおり、(1)基本方針(2)主な事業目標(3)事業実施計画を策定し、関係機関等の協力を得ながら、会員の総力を挙げて事業を実施します。

### (1) 基本方針

#### ①就業機会の拡大と適正就業の推進

区民の皆様や区内企業等にセンター事業を知っていただく他、区の協力を得ながら、就業機会の開拓・提供を行います。

#### (主な事業)

- ①・2019年度から「保育施設ワークサポート事業」を実施します。
- ①・就業開拓の体制を見直し、積極的な就業機会の開拓を行います。
- ①・シルバー派遣事業の実施に伴う検証体制の構築を行う。
- ②・「介護施設ワークサポート事業」、「介護予防・日常生活支援総合事業」の継続実施。
- ②・「家事援助サービス」事業の拡充。

#### ②会員の増強・拡大

減少傾向にあった会員数は、会員の皆様や役職員の努力が実り、増加傾向に転じました。今後も、様々な就業分野において活躍できる人材に参加していただける、具体的な取り組みを積極的に進めます。

(主な事業)

- ①・第2次100万人計画に基づき、会員数1,100人への増員を目標に、PDCAサイクルによる目標管理を実施します。
- ①・女性委員会委員及び役職員により、「ボランティア活動」の実施に合わせたPR活動を行います。
- ①・新システムの導入に伴う、リニューアルしたホームページ等の活用によるPRの強化。
- ①・「会員1名がプラスアルファ・会員1名獲得」キャンペーン事業を継続実施。地区班長会、グループリーダー・サブリーダー会等において、積極的な勧誘を呼びかけます。

③安全の徹底と健康管理

会員の健康と安全の確保は、シルバー人材センターの事業推進における最重要課題であり、平成27年度に「安全はすべてに優先する」という安全宣言を制定いたしました。

今年度も、安全管理委員会・安全支援員を主体に、安全管理体制の充実、事故防止措置の徹底した取組み、会員の健康管理の取組み、安全管理教育の推進、安全意識の普及啓発を会員一人ひとりに促しながら、会員の皆様が安心して働ける環境づくりに努めます。

④会員の自主・自律的な組織活動の推進

地区・地域班ごとに各種の会員主体の地域班活動が活性化しています。特色のある交流会の開催による会員相互の親睦を図り、結束を強めることによりセンター組織及び事業の基盤強化に繋がります。

仕事別グループにおいても同様な組織活動を展開し、共働・共助の精神に基づいた事業展開を進め、新たな就業分野の積極的な開拓に繋がるよう努めます。

(主な事業)

- ①・サークル活動や女性会員を主体とした趣味の会等の開催による、地区地域及びグループ活動の活性化。
- ①・4地区合同による新年会等の実施。
- ①・各地区における交流活動の充実。

#### ⑤会員の資質・接遇力の向上

各種会議、講習会、事業、会報など、あらゆる機会をとらえて、会員の意識を高め、地域社会や各職場で働くのに相応しい人材づくりに努め、コミュニケーションスキルアップや接遇研修に力を入れます。

#### (主な事業)

- ①・シルバー派遣事業開始に伴う、派遣対象会員研修の実施。
- ②・継続就業新規会員等への接遇研修の実施。

#### ⑥適正就業への取組

適正就業ガイドラインに基づく自主点検や、平成30年度「東京しごと財団」及び東京労働局の定期検査の指導を踏まえ、就業現場の確認、請負契約内容の確認や仕様書等の整備等、適正就業の取組み体制を強化します。

また、発注者にも適正就業の趣旨を説明し、センター事業が新規に行うシルバー派遣事業と「請負・委任」契約に基づく適正な請負が成立するよう努めます。指揮命令を伴う就業は、シルバー派遣事業にすみやかに切り替えます。

#### ⑦ボランティア活動の推進

ボランティア活動はセンターの重要な業務の一つであり、公益社団法人としてのセンターの存在を広く知っていただくため、都、区及び関係団体などと連携し社会奉仕活動を推進します。

#### (主な事業)

- ①・女性委員会委員及び役職員により「ボランティア活動」の実施に合わせた、PR活動を行います。

#### ⑧事務局体制の強化

事務局は会員の皆様の意見・要望を的確に把握し、常に会員の健康及び福祉の増進に努めます。

また、組織が現実の変化に対応できるよう、組織変革のため職員等の意識改革に努めます。

#### (主な事業)

- ①・シルバー派遣事業実施に伴う補助金を活用し、新規正規職員を1名採用します。

### (3) 平成31年度事業実施計画

#### (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員募集説明会	平日2回	事務局窓口 平日午前10時・午後2時
「公益シルバーぶんきょう」の発行	年3回	6月、9月、1月頃に発行し全会員配布
「区報ぶんきょう」に掲載	年2回程度	センター周知記事掲載
リーフレットの配布	随時	役職員、会員が区施設、各種イベント等で配布
ポスターの掲出	随時	区施設等に掲出
インターネットホームページによる情報提供	随時	<a href="https://webc.sic.ne.jp/bunkyo">https://webc.sic.ne.jp/bunkyo</a>
都営バス・文京区コミュニティバスの車内アナウンス	通年	シビックセンター前を運行するバス4路線 B-ぐる2路線
募集広告	年3回	高齢者の加入促進・就業機会拡大のためのPR
会員募集説明会	随時	高齢者施設就業前講座・文京区町会等高齢者の加入促進PR
会員募集広告	年1回	郵便局広告（現金納入袋）
PR活動	年2回	「文京区防災フェスタ」「文京ボランティア」市民活動まつり2019」加入促進・就業機会拡大のためのPR

#### (2) 高齢者の就業に関する調査研究

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
会員現況調査	年1回	未就業会員意向現況調査実施
就業会員実態調査	年1回	就業会員実態調査実施
労働者派遣事業	年3回	一般労働者派遣事業の実施による調査
保育施設お助け隊事業	年3回	保育施設お助け隊事業の実施による調査
定期健康診査受診と報告	年1回	全会員
センター事業の調査研究	随時	理事会、総務事業委員会、安全管理委員会等

#### (3) 高齢者の就業に関する相談

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
入会希望者相談	入会申込時	事務局窓口
高齢者の仕事相談	随時	事務局窓口
未就業者相談会	年1回	役職員
就業相談	年1回	役職員(就業上のトラブルや悩みの相談)

#### (4) 希望と能力等に応じた就業機会の開拓及び提供

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
継続就業希望及び職種変更相談	年1回	継続希望会員
継続就業調整会議	1月	担当役職員による継続就業職種への配置調整

福祉・家事援助サービスの推進	年3回	女性委員会を中心に福祉・家事援助サービス事業担当会員交流会を開催し、情報の共有化及び課題解決に向けた協議
深耕開拓（既存契約の掘り下げ）	随時	会員、職員

(5) 講習会、研修の実施及び参加

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
新入会員研修	年4回程度	新入会員
役員研修	年1回以上	理事及び監事
職員研修（しごと財団研修）	年1回以上	事務局職員
就業支援講習（しごと財団研修）	3コース程度	植木剪定、家事援助、襖・障子張替え等
交通安全講習会	年1回	交通指導グループ会員
接遇・技能等自主研修会	年1回以上	各仕事別グループ内でリーダー・サブリーダー等が中心となり、接遇及び技能等の向上を図る。
安全管理等講習会	随時	AED等講習会、その他安全に係る講習会等
その他の講習会、研修会	随時	役員、会員、事務局職員等

(6) その他の事業

① 会員の自主・自立的な組織活動

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
定時総会	年1回	法令、定款等に基づく事項の決議
理事会	年12回	センターの業務執行の決定等
会計監査	年4回	監事
総務事業委員会	年10回程度	理事会議題調整等
女性委員会	年5回	女性会員の能力、特性等の活用による就業検討等
安全管理委員会	年3回	安全対策実施計画の策定及び推進
班長会	年3回	4地区34地域
地区全体会	年1回以上	4地区で開催
地区理事・代表班長・班長との連絡会	年1回以上	4地区で開催
仕事別グループリーダー・サブリーダー会	年2回	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ全体会	年1回以上	学校受付管理、児童館等12グループ
仕事別グループ担当理事・リーダー・サブリーダーとの連絡会	年1回以上	12グループで開催
その他の会議	随時	

② 自主的組織活動への助成

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
地区地域班、仕事別グループ助成	随時	会場使用料、会議費、通信費等の助成
班長、リーダー等への活動補助	随時	代表班長・班長、リーダー・サブリーダー
みまもり訪問事業ボランティア	年間	社会福祉協議会事業が実施する75歳以上の高齢者への定期訪問等見守りに協力する。
東京台マラソン祭り2020	年1回	東京都が実施するマラソン事業に協力する。

③ その他

事業名	実施時期等	場所、対象、内容等
シルバーお助け隊（区補助事業）	年間	70歳以上の高齢者のみ世帯、障害者のみ世帯
買い物支援おたがいさまサービス事業（区補助事業）	年間	介護予防・生活支援サービス事業対象者
前期高齢者がサービスの担い手となるようはたらきかける事業（区補助事業）	年間	福祉施設
他団体との協力	年間	文京区役所、文京区町会連合会、文京区高齢者クラブ連合会、（公社）全国シルバー人材センター事業協会、（公財）東京しごと財団、第二ブロックシルバー人材センター、ハローワーク、（社福）文京区社会福祉協議会等
事務局体制の整備	年間	就業専門員の活用、公認会計士による内部統治（ガバナンス）